

第23回 兵庫便教会 報告

第23回兵庫便教会を11月25日(土)西宮市立浜甲子園中学校のトイレをお借りして開催いたしました。7名の方が参加をしていただきました。ありがとうございます。

今回は初参加の方もなく、複数回参加されている方ばかりでしたので、簡単な自己紹介のあと、早速1Fの男子トイレに向い、掃除に移りました。小便器に向う時は、さほど汚れは目立たなかったのですが、水を取ると臭いがしてきました。奥を指で触てみると、尿石がついている事がわかりましたので、辛抱強く磨いていきました。リーダーの判断で、女子トイレもすることにしました。分担しながら効率よく作業をすることができました。



以下のような感想がありました。「いつも頭で考える癖があるので、目の前のことに集中しようと思い、取り組んだ。いつもきれいな状態であるということが大切だと思った。」

「この前、リーダー研修を受け、リーダーをする経験をした。今日はリーダーの動きを見ながら作業をした。今までとは違う視点で掃除をしてみて違った学びがあった。」「しばらく

くぶりのトイレ掃除だったので、思い出しながら便器に向かった。掃除をしていると、逃げている自分を感じた。」「今日はリフレッシュしたいと思い、掃除を始めた。クラスの子は掃除が好きな子だと思っていたが、ある時に掃除がないとわかると喜ぶ子どもが沢山いて残念だった。」「まだまだ生徒はさせられている掃除だと思う。本質的な所を伝えられていないことに気づいた。」「リーダーをしたが、途中で女子トイレもすることにした。途中で物事を変えるのには勇気がある。」「このところ見えない所を意識している。コンビニで買う物は店員さんから受け取るので、そこだけしか見えないが、その向こうに多くの人の手が入っていることに目を向けることが大切だと思う。トイレ掃除は見えないところを意識できると思う。」「本質的なものをつかむのは、子どもが早い」

今回も参加者それぞれが、様々な学びを持ち、共有できたことが何よりもありがたかったです。トイレをお貸しいただいた浜甲子園中学校、道具を提供いただいている西宮掃除に学ぶ会に感謝いたします。ありがとうございました。

(文責 木田 重果)

